



市民の皆様には、清々しい新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から本市議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、安倍元首相への襲撃事件に端を発した旧統一教会問題や北朝鮮問題など、国内外において大きな出来事があった1年でした。

さて、我が国で新型コロナウイルスが確認されてから3年が経過しようとしていますが、その間、「新しい生活様式」の導入やワクチンの接種体制の加速化により、徐々にではありますが市域でのイベントの開催が戻りつつあります。特に昨年の11月には「市民まつり」が復活するなど、本市のにぎわいがより一層加速いたしました。さらに令和7年には「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が開催されますことから、本市でもその機運醸成が重要であると考えます。

本市議会でもアフターコロナを見据え、市民の皆様には活気と希望に満ちた生活が実現するよう、全力で議会運営に取り組んでまいり所存ですので、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、元気で希望にあふれた素晴らしい年になりますよう祈念しまして、新年のご挨拶といたします。

## 藤井寺市議会



【写真左から】 生田 達也、國下 尊央、松木 洋介、花崎 由貴子、玉田 日登美、片山 敬子、畑 謙太郎、伊藤 政一、岡本 光、瀬川 覚、木下 諤、山本 忠司、麻野 真吾、河井 計実

※撮影のときのみマスクを外しています。



皆様におかれましては、令和5年の新年を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、旧年中は行政運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響が続く中、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安による原油高・物価高騰により、市民生活や経済活動が大きな打撃を受けました。本市といたしましても、その対策として、買って応援ふじいでら、キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施、本年1月からの中小企業等に向けた緊急支援金などの対策に取り組んでおります。

市長就任後は、「藤井寺の未来はみんなで作る」のスローガンのもと、子育て環境充実のための公園遊具の整備や小中学生1人1台のタブレットPCの配布、子ども医療費助成の拡大、そして新しい市民まつりの開催と、様々な施策に懸命に取り組んだ4年でありました。

引き続き、市全域で行った市長タウンミーティングで頂いたご意見を活かし、まちのにぎわい、子育てのしやすさ、健康の増進を中心に、大阪・関西万博への対応やその後の未来を見据えた新しいまちづくりを、私が先頭に立ちながら職員一丸となって、進めてまいりたいと考えております。

結びに、皆様にとって迎えられました新年が、幸多い一年になりますことをお祈り申し上げます。

## 市長 岡田 一樹

